

令和5年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 4,914,149 円

※決算額は管理費部分を除く純事業費を記載

1. 外国人の受入れ拡大事業 4,349,984 円

地理的・歴史的に本県とのつながりが深い北東アジア地域について、県や関係団体等と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を目指した。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

ア 黒龍江省との友好交流促進事業

(ア) 日本語教師派遣事業（県委託事業）

黒龍江省への日本語教師2名の派遣に対し助成を行った。

(イ) 黒龍江省との交流事業

黒龍江省人民対外友好協会等と連携し、黒龍江省牡丹江市において同省内で日本語を学ぶ学生を対象とした「日中平和友好条約締結45周年・新潟県黒龍江省友好提携40周年記念2023

“新潟杯”日本語スピーチコンテスト」を開催した。

- ・期 日：11月4日（土）
- ・会 場：牡丹江師範学院
- ・出場者：12名（観覧者約170名）



中国黒龍江省での
日本語スピーチコンテスト

イ モンゴル国との友好交流促進事業

(ア) モンゴル国への技術協力事業

(特活)新潟県対外科学技術交流協会ほか関係団体とともに実行委員会を組織するなどし、次の事業を実施した。

- ①モンゴル国中小企業等への技術協力事業〔新潟・国際協力ふれあい基金事業〕

これまでの技術支援活動における課題を整理し、支援分野の絞込等

を行うための検討を行ったため、研修生の受入は実施しなかった。

②東ゴビ砂漠における緑化推進技術協力事業〔JICA 草の根技術協力事業〕

東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺の緑化に貢献することを目的に専門家を派遣するとともに、研修生を受け入れた。

(イ) モンゴル国との交流事業

令和4年9月にモンゴル国で開催した

「2022 “新潟賞” 日本語スピーチコンテスト」の最優秀賞受賞者3名を4月10日（月）から14日（金）まで新潟旅行に招待し、新潟県の伝統・文化・産業を紹介した。



新潟旅行で彌彦神社参拝

ウ 北東アジア友好交流促進事業

新潟総領事館等の外国公館をはじめとする関係機関の事業に積極的に参加するなど友好交流に務めた。

(2) 留学生就職支援セミナーの開催

留学生の県内企業への就職を支援するため、関係機関と連携し日本での就職活動に必要な知識や県内に就職した留学生の体験談など、就職に関する情報を提供するセミナーを実施した。

- ・期 日：11月8日(水)
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・参加者：留学生26名、企業関係者等13名
- ・内 容：

①講演「日本の就職活動ー留学生が知っておくべき基礎知識ー」

新潟新卒応援ハローワーク

上席職業指導官 国分 俊祐 氏

職業支援コーディネーター 渡邊 里江 氏

②講演「新潟県内に就職した先輩留学生が語る就職活動体験談」

3. 受け皿整備事業 0円

(1) ホストファミリー整備事業

ニーズを踏まえたボランティア制度全般のあり方を検討する中で、ホストファミリーを育成・登録しているものの、利用実績がないことから、事業の優先度を踏まえて、来年度事業を廃止することとし、今年度は実施しなかった。

II 国際協力活動の支援 5,321,741 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金助成事業 5,321,741 円

(1) NGO等への助成

海外の開発途上国などで活躍するNGOの人道援助活動等に対する財政支援等を通じ、新潟からの国際協力の推進を図ることを目的に、「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに助成金を交付した。

- ・助成実績：5件、計4,580,000円

(2) 基金運営

ア 審査委員会の運営

助成対象の審査等を行う審査委員会を開催

- ・期日：12月15日(金)
- ・会場：万代島ビル貸会議室

イ 募金活動

市町村役場や県内各地の日帰り温泉施設及び宿泊施設等に引き続き募金箱の設置を依頼し、広く県民に「新潟・国際協力ふれあい基金」事業の周知を図るとともに、県民から基金への寄附を募集

ウ 募金実績

(単位：円)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
金額	122,225	127,630	78,687	89,613	73,895
累計	15,953,436	16,081,066	16,159,753	16,249,366	16,323,261

(3) 新型コロナウイルスの影響

新型コロナウイルスの影響で、令和4年度に事業採択した5団体中、2団体が事業中止となり、助成金を返還している。

令和4年度事業については、令和4年12月に審査委員会を開催し、令和5年1月に助成金を交付したが、事業対象期間が令和5年1月から令和6年3月までとなっていることから、助成金の返還は令和5年度中となる。

Ⅲ 多文化共生の支援 26,613,882円

5. 国際理解推進事業 4,735,820円

(1) 国際理解教育プレゼンテーションコンテストの開催

学校や地域における国際理解に関する学習や活動についてプレゼンテーションを行うコンテストを新潟県国際理解教育推進協議会と連携して開催した。

コンテストは中学生部門と高校生部門に分けて実施し、副賞として各部門最優秀チームを海外スタディツアーに派遣した。

【プレゼンテーションコンテスト】

- ・ 期日及び会場：12月9日(土) 朱鷺メッセ
- ・ 参加チーム数：中学生部門 10、高校生部門 10
- ・ 最優秀賞：

〈中学生部門〉

白井中学校（新潟市立白井中学校）

「争いの先にある未来
～ウクライナ侵攻とイスラエル・
パレスチナ紛争からの考察～」

〈高校生部門〉

地球人（新潟明訓高等学校）

「難 mean」



国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

【海外スタディツアー】

- ・ 派遣期間：3月25日(月)～29日(金)
- ・ 派遣先：台湾・嘉義市、台南市、台中市、台北市
- ・ 参加者：生徒7名、指導者2名
- ・ 活動内容：嘉義県立永慶高級中学の生徒との交流及び嘉義市・台南市・台中市・台北市視察（烏山頭ダム、故宮博物院等）等

(2) 県民向け広報誌の発行

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA LETTER」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

- ・ 発行時期：9月(第26号)、3月(第27号)
- ・ 配付先：【日本語版】県内高校・大学等、公民館、図書館、市町村、民間団体
各号10,000部
【英語版】電子版として協会ホームページに掲載

(3) 国際理解教育推進協議会の開催

県内の各学校における国際理解教育の推進を図ることを目的として、教育関係者や教育関係機関で構成する国際理解教育推進協議会において、共に活動を行った。

また、協議会の総会を、3月18日（月）に朱鷺メッセで開催した。

(4) 国際交流プラザ講座・展示の実施

県民の国際理解を促進するため、新潟県国際交流プラザにおいて各種展示やイベントを実施した。

ア 国際交流プラザフェア

期間：8月8日（火）～9月1日（金）

期間：10月19日（木）～11月22日（水）

イ ハロウィーンフェア

期間：10月2日（月）～10月31日（火）

ウ クリスマスフェア

期間：11月24日（金）～12月25日（月）



秋の国際交流プラザフェア

6. 在住外国人相談事業 14,878,548円

(1) 外国人生活相談の実施（県委託事業）

県内の在住外国人が文化・習慣や制度の違い等から直面している生活上の諸問題の解決をサポートするため、新潟県からの委託を受け「外国人相談センター」において相談業務を実施した。

- ・対応言語：9か国語（日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語）
他に通訳ソフトを利用することで85言語に対応

- ・相談件数：851件（71件／月）

- ・相談内容：①入管手続 ②教育 ③身分関係 ④雇用・労働 ⑤ウクライナ関係

- ・専門相談：定期的に専門家による相談会を実施した。

教育相談（週1回） 16件

行政書士相談（月1回） 26件

入管手続相談（月1回） 22件

弁護士相談（9月まで隔月、10月から月1回） 25件

(2) 相談員・通訳員の育成

県内で外国人生活相談に対応する相談員や通訳員の資質向上を図る研修会を実施した。

外国人生活相談担当者実務研修

- ・期日：10月28日（土）
- ・会場：新潟ユニゾンプラザ 中研修室
- ・講演：「外国人相談事業に求められる連携・協働・ネットワーク」
- ・講師：一般社団法人多文化社会専門職機構
事務局長 菊池 哲佳 氏



外国人生活相談担当者実務研修

(3) 相談関係機関との連携

県行政書士会と連携して、外国人のための出張相談会を開催した。

- ・期日：11月24日（金）
- ・会場：東京出入国在留管理局新潟出張所（新潟空港）

7. 在住外国人支援事業 5,137,002円

(1) 外国につながる児童生徒等の教育支援

子どもたちが国籍にかかわらず安心して学び成長できる地域社会の実現を図るため、次の事業を実施した。

ア 進路ガイダンス

外国につながる児童生徒・保護者等を対象とした進路ガイダンスを開催

- ・期 日：8月20日（日）
- ・会 場：上越市市民プラザ
- ・参加者：34名

イ 電話教育相談

教育相談員による電話教育相談（毎週火曜日）を開催

ウ 研修会

当協会が事務局を担う「新潟県外国につながる児童生徒等教育支援ネットワーク協議会（通称：新潟県多文化子どもネット）」において、課題解決に向けた研修会を開催



第1回 研修会

(第1回)

期 日：8月25日(金)

場 所：新潟大学駅南キャンパスときめいと

講 演：「子どもたちの笑顔を支えるために一広域での支援ネットワーク構築の必要性」

講 師：非営利活動法人ひろだい多文化リソースルーム
理事長 吉田 美穂 氏

(第2回)

期 日：3月23日(土)

場 所：新潟大学駅南キャンパスときめいと(ハイブリッド開催)

講 演：「外国につながる子どもたちの支援体制作り
～佐賀県の事例から～」

講 師：宮崎国際大学国際教養学部准教授
佐賀県日本語学習支援“カスタネット”キッズ代表
宮崎子ども日本語教育研究会共同代表 早瀬 郁子 氏

(2) 地域の多文化共生推進事業

県内においても在住外国人が増加傾向にある中で、多文化共生社会の実現に向けて、次の事業を実施した。

ア 在住外国人の生活と意識に関する実態調査

関係団体と連携し、10月から12月に在住外国人を対象にインタビュー調査を実施し、3月に報告書を作成

イ やさしい日本語研修

やさしい日本語を普及するため、外国人住民と接する機会が多い行政職員等を対象に研修会を開催

(第1回)

期 日：11月6日(月)

会 場：上越文化会館

参加者：42名

(第2回)

期 日：11月27日(月)

会 場：五泉市福祉会館

参加者：44名

(第3回)

期 日：12月18日(月)

会 場：聖籠町役場

参加者：50名



やさしい日本語研修会(上越市)

ウ 技能実習生と地域住民との交流会

技能実習生と地域住民との相互理解・共生を促進するため、交流会を開催

期 日：3月16日（土）

会 場：外国人共同宿舎「かがやき」（燕市）

参加者：技能実習生4名、地域住民等14名

(3) 日本語教育プロジェクト（県委託事業）（新規）

県がいわゆる日本語教育推進法に規定する日本語教育の推進に関する基本的な方針を策定するため、県からの委託を受け、6月に有識者会議を設置し、1月に有識者会議として素案をまとめ、県に提出した。

（第1回）

期 日：6月15日（木）

会 場：県庁行政庁舎103会議室

（第2回）

期 日：8月22日（火）

会 場：県庁行政庁舎103会議室

（第3回）

期 日：10月26日（木）

会 場：新潟県自治会館別館901会議室

（第4回）

期 日：12月21日（木）

会 場：県庁行政庁舎103会議室

（第5回）

期 日：3月21日（木）

会 場：万代島ビル貸会議室



第1回 有識者会議

(4) ウクライナ避難民支援事業（県委託事業）

ウクライナ避難民の生活を支援するため、ボランティア通訳の派遣や避難民が集まり悩み事相談や情報交換を行う「ウクライナおしゃべりカフェ」を開催した。

- ・ボランティア通訳

ロシア語24名うちウクライナ語1名

- ・ボランティア通訳研修（オンライン開催）

期 日：7月15日（土）

講 師：公益財団法人横浜市国際交流協会

事務局長（ウクライナ避難民支援担当） 鈴木 一博 氏

参加者：14名

- ・ウクライナおしゃべりカフェ

期 日：7月1日（土）

会 場：新潟市内

参加者：ウクライナ避難民2名、ロシア語ボランティア通訳2名、スタッフ等6名

8. 留学生支援事業（留学生交流推進員事業） 1,862,512円

県内大学の留学生を活用し国際交流や多文化共生活動の活発化を図るため、国際交流等の活動に意欲のある34名の留学生を「留学生交流推進員」に任命した。

交流推進員には活動支援金を交付し、当協会や関係団体の主催事業に参画してもらうとともに、自主的に国際交流イベントを企画・実施してもらった。

- ・任 命 式：5月13日（土）MOYORé：（新潟駅 CoCoLo 南館）
- ・活動報告会：3月22日（金）（オンライン開催）
- ・活動状況

活動件数 49件

派遣延べ人数 172名



任命式での集合写真



母国文化の紹介

IVの1 基盤強化（民間活動活発化） 2,639,642 円

9. 民間団体助成事業 1,867,814 円

(1) 国際化推進活動助成金の交付等

ア 国際化推進活動助成金

民間団体等が実施する国際交流等の活動を支援し、地域における活動の一層の促進を図るため、活動助成金を交付した(年2回)。

- ・助成実績：民間団体等 11 団体、計 1,654 千円
- ・事業内容：国際交流、国際協力、人材育成、多文化共生推進等

イ 海外県人会等との青少年交流支援

県と連携し、海外県人会と県内高校との交流を実施した。

- ・ベトナム・ホーチミン新潟県人会と県立三条高等学校との交流

(2) 国際交流プラザの貸出

民間団体の国際交流活動を促進するため、国際交流プラザの貸出を行った。

- ・利用時間：原則として平日・土日・祝日の9時～21時
- ・利用件数：11件

10. 市町村・民間団体ネットワーク構築事業 153,829 円

(1) 国際交流連絡会議

県内3地域において、市町村や民間団体等と情報交換・意見交換を行う国際交流連絡会議を開催した。

- ① 上越会場
・期 日：4月24日(月)
・会 場：上越市市民プラザ
・参加者：9団体19名
- ② 長岡会場
・期 日：4月27日(木)
・会 場：アオーレ長岡
・参加者：19団体30名
- ③ 新潟会場
・期 日：4月28日(金)
・会 場：朱鷺メッセ
・参加者：34団体46名



国際交流連絡会議（新潟会場）

11. 在外県人会等活動支援事業 617,999円

ブラジル、ホノルルの各新潟県人会に対し、活動を支援するための助成金を交付した。

団 体 名	助成額 (円)
ブラジル 新潟県人会	450,000
ホノルル 新潟県人会	149,999
合 計	599,999

IVの2 基盤強化（人材育成） 1,941,721円

12. 人材育成事業 1,941,721円

民間国際交流団体の人材育成や次世代を担う若者の国際理解の推進を図るため、講座やワークショップ等を開催した。

(1) NGOスタッフ育成事業

国際交流・国際協力等を目的に設立されたNGO団体のスタッフやこれからNGO活動を始めたい人を対象とするセミナーを(特活)にいがたNGOネットワークに委託して開催し、NGOで活躍する人材の育成を図った。

- ・期 日：3月17日（日）
- ・会 場：新潟ユニゾンプラザ
- ・テーマ：「より良い世界は、一人ひとりのウェルビーイングから」
- ・講 演：「脳科学から考えるウェルビーイング」 赤石 隆夫 氏
- ・ワークショップ：認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
代表 中島 早苗 氏、広瀬 太智 氏

(2) ボランティアバンク運営事業

国際交流イベントを支援する意志のある方を「通訳・翻訳ボランティア」や「アースサポーター(イベント運営ボランティア)」としてボランティアバンクに登録し、主催者からの要請に基づきボランティア保険を付けて派遣した。

ア 通訳・翻訳ボランティア、アースサポーター

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 354名
(英語215名、中国語59名、韓国語31名、ベトナム語10名、スペイン語6名、モンゴル語4名、ロシア語19名、その他の言語10名)
- ・アースサポーター登録者数 159名
- ・イベント等への派遣 要請5件、派遣37名

イ 通訳・翻訳ボランティアセミナー

登録者を対象に通訳技術の向上等を図るセミナーを開催

- ・期 日：3月3日（日）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・内 容：講演「コミュニティ通訳」
及び通訳演習
- ・講 師：コミュニティ通訳者・
多文化ソーシャルワーカー
神田 すみれ 氏
- ・参加者：37名



通訳・翻訳ボランティアセミナー

(3) 国際交流ファシリテーター養成事業

5大学と連携し、研修を受けた大学生・大学院生を国際交流ファシリテーターに委嘱し、小中高生を対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるための国際理解ワークショップを実施した。

- ・連携大学：新潟国際情報大学、敬和学園大学、新潟県立大学
上越教育大学、新潟大学
- ・国際交流ファシリテーター：79名
(新潟国情大学21名、敬和学園大学9名、新潟県立大学24名、上越教育大学5名、新潟大学20名)
- ・キックオフセレモニー：8月5日(土)
- ・派遣実績：県内27校
(小学校13校、中学校5校、
中等教育学校2校、高等学校6校、
その他1校)
- ・テーマ：「SDGs」の達成項目に関連した内容



キックオフセレモニーでの
模擬ワークショップの様子

(4) 国際理解教育推進支援事業

(特活)にいがたNGOネットワークに委託し、県内における国際理解教育の充実・進展を図るため、小・中・高等学校等の教職員、学生、一般県民等を対象にした、セミナーを開催した。

(第1回)

- ・期 日：7月29日(土) (オンライン開催)
- ・テーマ：「考えよう！子どもの人権 ～変化を起こすキーポイント～」
- ・参加者：48名

(第2回)

- ・期 日：9月23日(土)
- ・会 場：上越教育大学(上越市)
- ・テーマ：「親しよう！あなたとSDGs ～学校・行政・企業のチャレンジ～」
- ・参加者：20名

(第3回)

- ・期 日：10月14日(土)
- ・会 場：トキ交流会館(佐渡市)
- ・テーマ：「感じよう！多文化共生 ～異文化との出会いを感じるワークショップ～」
- ・参加者：31名

(5) 医療通訳等支援事業

外国人に対する医療支援の専門家を招き、現状や課題等について理解を深めるセミナーを開催する予定であったが、連携して実施している団体との調整がつかず今年度は中止した。

(6) 災害時外国人支援人材育成事業

災害時の外国人住民を支援できる地域の人材として、県内の在住外国人にかかわる個人や関係団体職員を対象に、在住外国人の不安やニーズを理解し、災害時の支援につながる役割や行動について考え学ぶための「災害時の外国人支援セミナー」を実施した。

- ・期 日：2月23日（金・祝）
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・内 容：講演「災害時の外国人支援について」
- ・講 師：NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 土井 佳彦 氏
- ・参加者：45名



災害時の外国人支援セミナー

IVの3 基盤強化（広報情報提供）

1,732,809 円

13. 広報・ライブラリー運営事業 430,384 円

県内団体や一般県民等に対し、国際交流や国際協力に関する情報及び当協会の事業等に関する情報を広く提供した。

(1) PR記事掲載

賛助会員の募集について朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」を活用してPRした。

(2) 年次報告書の発行

当協会の事業について周知を図るとともに関係機関から事業推進への協力を得るため、令和4年度事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係各所に配布した。

(3) プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料(図書、ビデオ、CD、雑誌、新聞等)を整備し県民の利用に供した。

【蔵書等の状況】

- ・ 図書・雑誌・新聞
- ・ 各種団体発行物
- ・ その他（県内外 NGO や全国の国際交流協会の機関誌、語学学習用教材等）



書籍・雑誌の配架

(4) 広報誌の発行(再掲)

県民の国際理解を促進するため、県内における国際交流や多文化共生推進の取組を県民に紹介する広報誌「NIA LETTER」を発行し、県内高校・大学や公共施設等に配付した。

14. IT活用促進事業 1,163,190 円

多言語（104言語）に翻訳可能なホームページの運営を行い、各種情報を掲載した。また、県協会ニュースや関連団体の県内外イベント情報等を定期的にメールマガジンとして配信するとともに、Facebook やLINE でも情報を発信した。

15. 賛助会員募集事業 48,394 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
個人	30	34	34	32	29
団体	51	52	46	51	47
計	81	86	80	83	76

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員	<ul style="list-style-type: none"> ・朱鷺メッセ関係施設利用割引 ・レストラン、旅行代理店等店舗利用割引
団体会員	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化推進活動助成金の交付(11団体、計1,654千円) ・国際交流プラザの貸出及びパネル展示 ・印刷機の利用
個人会員 団体会員 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・県立施設の入館料割引(近代美術館、近代美術館万代島美術館、歴史博物館、自然科学館) ・イベント案内チラシの送付 ・世界各国の国旗、民族衣装等の貸出(国旗貸出48件、民族衣装貸出5件)

16. 国旗等貸出事業 90,841 円

国際交流活動を行う賛助会員や団体に対して、世界各国の国旗や民族衣装・グッズ等の貸出を行った。

- ・貸出実績：国 旗 22団体 48件
民族衣装 5団体 5件

